

ADVENTURE WATERPROOF

アドベンチャーWPブーツ

取扱い説明書

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、本製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はDFGアドベンチャーWPブーツの正しい取り扱い方法について説明しております。二輪用ブーツの取り扱いをご存知の方もこのブーツ独自の装備、取り扱いがございますので、ご使用になる前に必ずお読みください。

二輪用ブーツはいかなる事故にも絶対の安全を保障するものではありません。万一の際の危険の度合いを減らす装備のひとつであり、安全の一要素に過ぎません。安全で快適なバイクライフを楽しむためにも、この取扱説明書の内容をよくご理解くださいませうようお願いいたします。

お手入れ方法

- 泥や埃を落とす場合は、ブラシや柔らかいスポンジ、柔らかい白い布等を使用し、傷をつけない様注意しながら作業を行ってください。
- 汚れが取りにくい場合は市販のシューズ専用クリーナーを使用するか、水又は中性洗剤を薄めに溶かした水に浸した布を固く絞って、丁寧にふき取ってください。その際、同じ箇所を何度も擦らないようにしてください。靴クリーム等の皮革油を用いる必要はございません。
- クリーナー、水拭き、洗剤拭きをする場合は、予め目立たない場所で試してください。
- ベンジンやシンナー等の化学溶剤、熱湯、塩素系の洗剤、パーツクリーナー等で洗わないでください。表面の仕上げ処理を溶かしたり、色ムラ、シミ等が生じる恐れがあります。
- 水等で濡れた直後に、ドライヤーなどを使って強制乾燥しないでください。
- 乾燥は乾いた布で水分を十分にふき取り、直接日光の当たらない風通しの良い場所に置いて自然乾燥させてください。
- 雨天の走行後や洗浄などでブーツが濡れた際は、必ずブーツを乾燥させるようにしてください。乾燥させる際は必ずブーツを逆さまにした状態で干してください。



※オフロードブーツの洗浄・乾燥にはUNITブーツウォッシュスタンドがおすすめです。

注意事項

- オフロードブーツを履き始めたうちはまだ生地が硬い状態のためブーツが硬く感じます。安全性を確保するためにも、ブーツを柔らかくするために必ず「ブーツの慣らし作業」を行ってください。
- オフロードブーツはオンロードブーツと比べてつま先に厚みがあるため、バイクの車種によっては純正のシフトレバーの位置ではシフトチェンジ(シフトアップ)がやりづらい場合がございます。その場合、シフトレバーの高さを1段階上げるなどの車体側の調整を行ってください。
- 未舗装路や林道を走行する場合は、安全面からニーシンガードなどの膝や脛を守るプロテクターとセットで着用することを推奨いたします。
- オフロードコースやレースでの使用、林道や山でのハードな走行をする場合は、安全性の点からDFGフレックスブーツなどのよりプロテクション性能の高いブーツの使用を推奨いたします。
- 本製品はふくらはぎ部分を広めに設計しています。
(対応可能なふくらはぎ周囲の目安：～47cm)
- ふくらはぎが細い方は厚めのニーシンガードや厚手のロングソックス(DFGモトソックス等)と一緒にご使用ください。
- 本製品は防水構造をとっていますが完全防水ではありません。ご使用状況(雨量や使用時間等)によっては浸水する可能性がありますのでご注意ください。
- モトクロスなどの歯形状が鋭利な競技用フットペグ(ステップ)をご使用の場合、荷重をかけるとソールが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- バックル、ストラップ、ストラップパスなどのリプレースメントパーツはDFGフレックスブーツと共通です。リプレースメントは1個(1本)単位で別売りにしていますので、必要な箇所だけストラップの長さ変更や補修交換が可能です。
- ふくらはぎが細い方でブーツの上から2番目のストラップが余ってしまう場合、上から2番目と3番目のストラップを付け替えることでストラップの長さ調整をすることが可能です。

注意事項

- 本製品はモーターサイクル用として開発された製品です。それ以外の用途で使用しますと、正しく機能しない場合があります。
- 品質に関しては十分配慮しておりますが、経年劣化や使用損耗による機能低下の可能性がありますのでご了承ください。
- 使用消耗、あるいは退色や変色、素材自体の性能劣化や経年劣化などの経年変化による不具合については保証の対象外となります。
- ブーツの素材や接着剤等に使用されているポリウレタンは保管中時間の経過とともに劣化している事があります。長期保管後で未使用でも劣化の可能性があるので、使用前に必ずご確認ください。
- 足に合わないブーツは足の健康を損なう可能性がありますのでご注意ください。
- バックル類はしっかりと固定し、使用中に不意な脱げなどが無いようご注意ください。
- 過度にすり減ったソールは、釘やステップなど鋭利なものを踏むと靴底を貫通し足の怪我に繋がりますのでご注意ください。
- 油に触れる場所では、滑ったり靴の劣化がある場合がありますのでなるべく使用は控えてください。
- 火のそばに置くと、軟化または変形することがありますのでご注意ください。
- 濃色生地や合成皮革は色落ちすることがあります。また、汗や雨で濡れた状態で使用した場合、靴下等に色移りする場合がありますのでご注意ください。